棚田

美加の台中学校
一年
下岸
雅季

ぼくのふるさと河内長野で、一番好きな場所、それはぼくのおじいちゃんおばあちゃんの家の棚田です。

旧石仏城のふもとにある、惣代の棚田は、一年を通して色が変化します。

田植えの時期は、水色に見えます。それは、空の色がうつっているからかもしれません。

小さな苗が、きれいに一列に並んでいます。

夏は緑色。大きくなった苗たちが、風にゆられてとてもきれいです。

天気のいい日は、はるか向こうにあべのハルカスが見えます。

秋は黄金色。いよいよ収穫です。たくさん実っていればいるほど、喜びが増します。

冬は白色。田んぼの上に、雪が積もります。

この景色を見ることができるのは、おじい

20 × 20

ちゃんやおばあちゃんが、一生懸命がんばっているからだと思います。

時々、大きな白いサギが飛んできます。くちばし・くび・脚が、とても長いです。また、クワガタやカブト虫も、よくつかまえました。

秋には、トンボがたくさん飛んできます。棚田から見る夕陽は、きれいでした。

ぼくは、大人になってもこの景色は忘れないと思います。この景色を保つためにも、ぼくもおじいちゃんやおばあちゃんの手伝いをこれからもしていきたいと思います。

20 × 20